

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～26℃台を示し、やや低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシが1日1統当たり21トンの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マイワシなどが1日1統当たり0.2トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは壱岐勝本地区では、1日当たり21kgの水揚げで、前週の22%（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり48kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり502kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり31kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり49kgの水揚げ。対馬東岸地区ではケンサキイカなどが1日1統当たり182kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、カマスが1日当たり160kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

沖合イカ釣り 鳥取県（6/30～7/3）

沖合船（船凍船）は、太平洋公海域のアカイカ（ムラサキイカ）漁に出漁中。

沿岸船（氷蔵船）は、壱岐・対馬沖、山陰沖、能登半島沖、佐渡沖で操業。

沖合いか釣（鳥取県西部・19トン小型船）は、入港船延3隻がスルメイカ8箱、ケンサキイカ2箱、合計10箱を、1航海最高5箱、平均3.3箱の水揚げ。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「組織で探す⇒研究機関等⇒総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp>